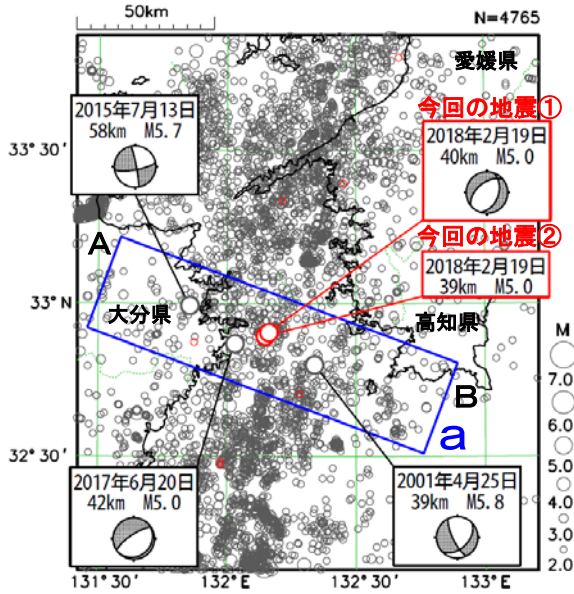


## 2月19日 豊後水道の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2018年2月28日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$   
2018年2月の地震を○で表示)



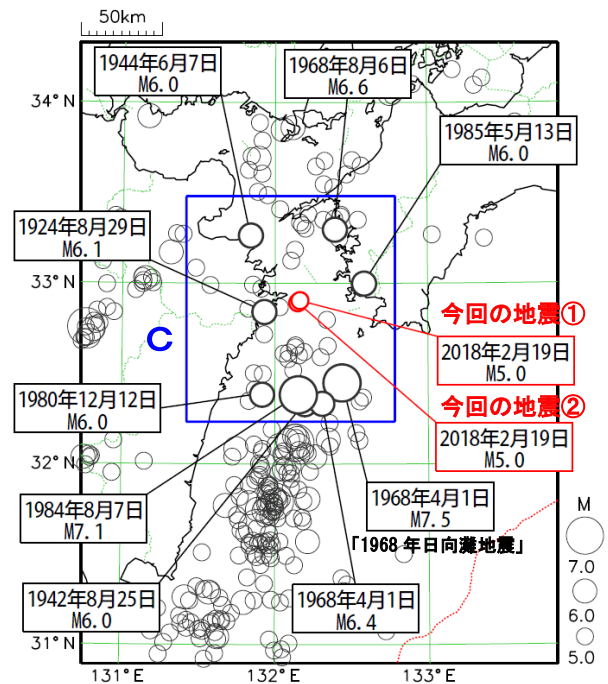
2018年2月19日03時31分に豊後水道の深さ40kmで $M5.0$ の地震(最大震度4)が発生した(今回の地震①)。この地震の約4秒後、ほぼ同じ場所で $M5.0$ の地震が発生した(今回の地震②)。最初の地震の発震機構は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型で、いずれもフィリピン海プレートの内部で発生した。今回の地震①②の発生後、比較的地震活動が活発になっている。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、定常的に地震活動がみられる場所であり、2017年6月20日には、 $M5.0$ の地震(最大震度5強)が発生している。

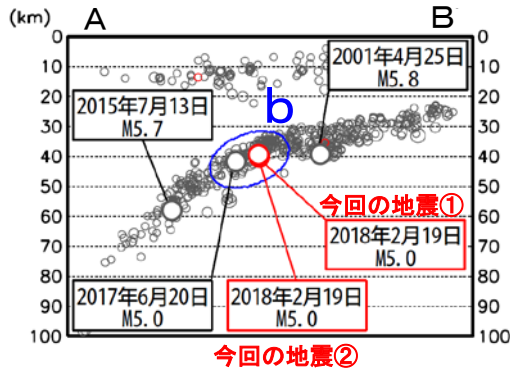
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。「1968年日向灘地震」( $M7.5$ 、最大震度5)では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じ、大分県蒲江で240cm(最大全振幅)、高知県土佐清水で236cm(最大全振幅)などの津波を観測した(「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

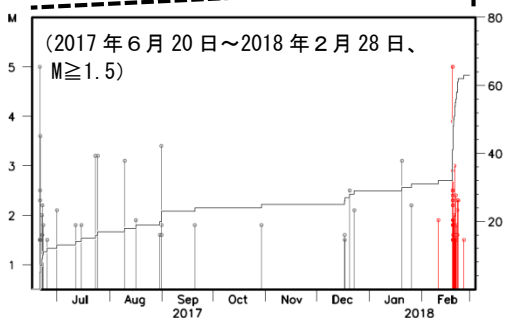
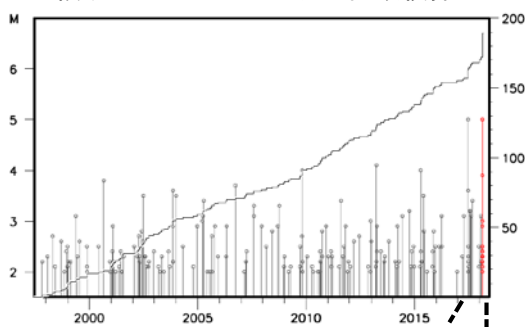
(1923年1月1日～2018年2月28日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$   
2018年2月の地震を○で表示)



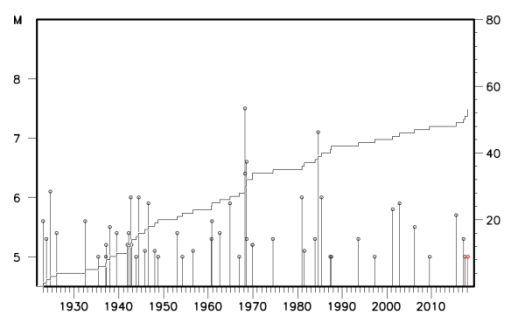
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図及び回数積算図



気象庁作成